

平成30年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

平成31年 2月 8日

学校関係者評価委員会

総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 教職員の意欲的な取組が成果となって表れている。
- 読書活動充実に向けた様々な取組が読書習慣の向上に大きく寄与している。
- たてわり活動は、児童の心を育てる活動として実践され継続されている。
- 常にPDCAサイクルによる学校運営の改善に努めていることは高く評価できる。
- 運動カードの活用により、運動習慣の形成がなされている。
- 学年に応じた出前授業などを取り入れ、安全指導や事故防止に努めている。
- 通級指導の効果的な活用が図られている。

(2) 成果について

- 学校だよりは内容が工夫され、多くの保護者や地域の方々にも来校してもらえよう情報発信がなされている。
- カリキュラム部会を開催し、教育課程編成の工夫がなされている。
- 職員の和を大切にしたい明るい職場作りに努めており、子供たちに良い影響を与えている
- 職員間のコミュニケーションがよく、問題を全職員が共通理解のもと、全体で取り組む体制づくりが素晴らしい。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ICT機器の活用能力の育成とともに、従来の読み書きの基礎はしっかり身に付けさせてほしい。
- ボランティアの意義を共通理解しより良い教育活動を協働で実践してほしい
- 地域ボランティアとの交流はもう少し多くあってもよいと思う。
- 情報モラルについての指導を児童のみならず保護者にも啓蒙していく必要がある。
- 子供の安全のためにも安否確認など子供会やPTAと連携し進めてほしい
- 郷土を知る活動の一環として、市庁舎のはちみつづくりの見学などを入れてみてはどうか。
- 子供たちと地域の関わりを今後一層深めてもらいたい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<p>○家庭や地域への情報発信に努め、学校理解につながっている。</p> <p>○校舎の老朽化も進んでいるためか、清掃等が十分行き届いていない。</p> <p>○児童数に対して教材が足りていない現状があるようである。様々な工夫を通して対応を図ってほしい。</p>
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	B	<p>○教員の授業改善への意欲は非常に高いと感じている。今後、個に応じた指導の一層の工夫を図ってほしい。</p> <p>○生徒指導面で学校と家庭の認識について温度差があり、その差をどう縮めるかが課題である。</p> <p>○異学年交流により、児童の心身の成長につながっている。</p>
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	A	<p>○健康教育は学校だけでなく、家庭の協力も不可欠である、今後も継続して家庭への働き掛けをしてほしい。</p> <p>○早寝・早起き・朝ごはんは親が手本を示すことが大切である。</p> <p>○特別支援コーディネーターと担任が連携することで成果が上がっている。</p>
	2 特別支援教育	A	
	3 図書館教育	A	
	4 健康教育	B	
	5 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		A	<p>○積極的にボランティアさんの協力を得て、様々な教育活動で活用されている。今後、子供たちに思いやりや感謝の気持ちをもたせる意味でも、ボランティアの方々との関わり方を子供たち自身に考えさえ工夫していけると良い。</p>